

平成26年度第2回全国バリアフリーネットワーク会議

地方局の取組

平成27年1月16日

北海道ブロックにおけるバリアフリー施策 の取組みについて

北海道開発局・北海道運輸局

① バリアフリー教室

● 現地のバリアフリーリーダーとの連携により、道内各地で様々な形態のバリアフリー教室を実施。

- ・平成13年10月に札幌市で初めて開催。
- ・平成26年12月末までの開催回数は延べ195回、参加人数は延べ8,490人。
- ・平成26年度は14回開催予定。(平成26年12月末時点で13回実施、499人が参加。)

フェリーターミナル(小樽市)(開発局と共催)

(開催日時)

平成26年7月7日(月)

9:05~11:35

(実施概要)

- ・参加者は小学生及び新日本海フェリー(株)社員。
- ・船内にて、車いすと視覚障がいの擬似体験及び介助体験を実施。
- ・開発局からミニ講座として「道路のバリアフリー」を紹介。



地下鉄宮の沢駅(札幌市)

(開催日時)

平成26年10月17日(金)

9:30~15:00

(実施概要)

- ・参加者は中学生。
- ・駅構内にて車いすと視覚障がいの擬似体験及び介助体験のほか、「聴覚障がいの方々への理解とバリアフリーについて」の講話を実施。



道の駅だて歴史の杜(伊達市)

(開催日時)

平成26年11月4日(火)

15:00~17:00

(実施概要)

- ・参加者は伊達市観光関係者。
- ・車いすと視覚障がいの擬似体験及び介助体験を実施。



釧路空港ターミナルビル(釧路市)

(開催日時)

平成26年11月12日(水)

14:30~16:20

(実施概要)

- ・参加者は釧路空港ターミナルビル内の勤務者。
- ・車いすと高齢者の擬似体験及び介助体験を実施。



● 平成25年度 バリアフリー教室開催状況

開催回数：14回

実施市町村：7市2町（札幌市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、千歳市、木古内町、壮瞥町）

延べ参加人数：559人

日 程	会場(場所)名	参加対象者	参加人数	体験内容等
6月13日(木)	札幌市立新陵小学校	札幌市立新陵小学校6年生	56	体験：車いす・高齢者
7月8日(月)	小樽会場 新日本海フェリー(株) フェリー「はまなす」	小樽市立花園小学校5年生、 いずみ学級 新日本海フェリー(株) 社員	70	体験：車いす・視覚障がい 講話：ミニ講話
7月25日(木)	小樽市立天神小学校	小樽市立天神小学校5年生	22	体験：車いす・視覚障がい
8月30日(金)	小樽市立幸小学校	小樽市立幸小学校5年生	47	体験：車いす・視覚障がい
10月10日(木)	札幌会場 地下鉄宮の沢駅周辺及び その周辺施設	札幌市立新川西中学校2年生	30	体験：車いす・視覚障がい 講話：盲導犬
10月29日(火)	釧路会場 阿寒バス(株)本社	釧路地区バス協会所属 バス運転手及び管理者	27	体験：車いす・高齢者
11月 5日(火)	新千歳空港 国際線旅客ターミナル	安平立早来小学校5・6年生 新千歳空港関係者	61	体験：車いす・視覚障がい
11月15日(金)	木古内会場 木古内町中央公民館	木古内町の観光及びまちづくり 関係者	18	体験：車いす・視覚障がい 講話：聴覚障がい
11月18日(月)	北見会場 ホテルベルクラシック 北見	北見市内ホテル従業員 自治体職員	12	体験：車いす・視覚障がい
11月 20日(水)	壮瞥会場 有珠山ロープウェイ	壮瞥町、洞爺湖町及び登別市の 観光関係従事者	16	体験：車いす・視覚障がい
11月22日(金)	帯広会場 十勝バス(株)本社	十勝地区バス協会会員事業者の 運転手及び管理者	30	体験：車いす・高齢者
12月10日(火)	札幌市立北都小学校	札幌市立北都小学校4年生	83	体験：車いす・視覚障がい 講話：聴覚障がい・盲導犬
12月12日(木)	札幌市立二十四軒小学校	札幌市立二十四軒小学校4年生	75	講話：盲導犬
2月 24日(月)	旭川会場 旭川空港ターミナルビル	旭川空港ターミナル内 各事業所従業員	12	体験：車いす・視覚障がい

②「運輸事業者向けバリアフリー教室」の実施

当運輸局が実施するバリアフリー教室は、身体障がいや視覚障がいの介助・擬似体験を中心とした講義内容であるが、公共交通機関は様々な方々が利用することを踏まえ、交通事業者が接遇方法に苦慮している聴覚・知的・精神・内部の各障がいをお持ちの方々の日常生活と移動について、当事者から講義を受けることにより、その後の業務に役立てていただくことを目的としたものである。

また、当該教室は交通エコモ財団、札幌市社会福祉協議会及びNPO法人手と手の協力を得て、観光シーズン閑散期を捉え開催した。

(実施概要)

日 時：平成26年11月27日（木） 9：00～17：00

会 場：札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター

内 容：接遇・介助の必要性和意義（エコモ財団）

障がいのあるお客様とのコミュニケーションの基本（エコモ財団）

障がい者の日常生活と移動（札幌市社協※）

接遇・介助方法実技（NPO法人手と手）

グループディスカッション（エコモ財団）

参加者：鉄道事業者、バス事業者、旅客船事業者の運行管理者等
合計24名

※ 札幌市社会福祉協議会が実施している「障がい者講師養成講座」により養成された聴覚、知的、精神、内部、視覚の各障がいをお持ちの方々より講義を行っていただくとともに、グループディスカッションにもご参加いただいた。



③「函館バリアフリーボランティアプロジェクト2014 研修会」

平成20年度に、函館で道内初の「バリアフリーボランティアプロジェクト実証実験」を北海道運輸局主催（公共交通活性化プログラム事業）で実施。

平成21年度より地元のNPO法人スプリングボードユニティ21が中心となり、「函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会」が発足、函館市の補助事業として平成23年度までの3年間実施され、平成25年度に研修会のメニューを見直し、新たに補助事業として認められた。

この研修会は、事前に募集したボランティアが、JR函館駅において、障がい者など、函館を訪れる方々が快適に移動できるよう、車いすの介助や施設内及び他の公共交通機関への誘導や観光案内などのお手伝いをするにあたり、適切な行動がとられるよう事前に学んでいただくものであり、函館運輸支局が後援していることから、国土交通省が進める「心のバリアフリー」社会の実現に向けた取り組みなどについて、昨年度に引き続き講演を行った。



（実施概要）

日時：平成26年9月27日（土）及び28日（日）の
9：30～15：30

会場：函館朝市ひろば2階会議室

内容：①「心のバリアフリー」社会の実現に向けた北海道運輸局の取り組み等

②観光客のバリアを解消する方策

（函館観光ボランティアガイド 一會の会）

③視覚障がい者・車いす利用者への接遇と介護

屋内実習（エレベーター等）

屋外実習（研修会場～JR函館駅～函館市役所への

車いす介助体験等）（NPO法人手と手）

④質疑応答

受講者：事前に募集した18歳以上の者 20名程度



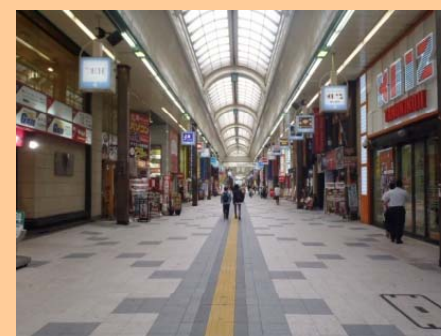
(実施概要)

日 時：平成26年3月11日（火） 14:00～16:30
平成26年3月12日（水） 9:00～12:30

場 所：北海道運輸局内会議室

参加者：バリアフリーリーダー7名、交通事業者等（JR北海道、札幌市交通局、北海道バス協会、北海道ハイヤー協会、北海道旅客船協会）、北海道開発局、北海道運輸局

- 概 要：①北海道運輸局より、「バリアフリー表彰」、「バリアフリー施策の取組状況」、「全国バリアフリーネットワーク会議」などについて報告。
- ②バリアフリー事例紹介として、札幌市交通局より平成25年5月に導入された札幌市路面電車「新型低床車両ポラリス」についてのほか、路面電車の歴史、路線のループ化など、街づくりを含めた利用者利便の向上についてもあわせて紹介いただいた。
- ③参加者による意見交換（内容については、交通事業者等への意見・要望のほか、地域連絡会議の運営等について）。
- ④平成26年3月12日（水）は、「新型低床車両ポラリス」に乗車しバリアフリー対応設備について体験していただいたほか、バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞した「札幌狸小路商店街」の視察を実施。



東北ブロックにおけるバリアフリー施策の 取組みについて

東北地方整備局・東北運輸局

1. バリアフリー教室の取組状況①

急速な高齢化や障がい者の自立と社会参加の要請に適切に対応し、高齢者、障がい者等が公共施設等を円滑に利用できるようにするため、施設整備（ハード面）だけではなく、手助けがしやすい環境づくり（ソフト面）を行うという観点から、高齢者、障がい者の擬似体験、介助体験を通し、バリアフリーについての理解を深めてもらい、意識の高揚を図り「心のバリアフリー」社会の実現を目指す。

平成26年度の開催状況

会 場 名	場 所	日 程	参加対象者	参加人数	主 催	備 考
仙台市	仙台医療福祉専門学校	5月27日	専門学生	42	東北運輸局	交通環境学習と同時開催
仙台市	仙台医療福祉専門学校	6月3日	専門学生	42	東北運輸局	交通環境学習と同時開催
仙台市	勾当台公園駅	6月5日	南材小学校4年生	57	東北運輸局	共催：仙台市交通局
仙台市	仙台医療福祉専門学校	6月12日	専門学生	48	東北運輸局	交通環境学習と同時開催
仙台市	北中山小学校	6月19日	北中山小学校4年生	77	東北運輸局	
仙台市	将監小学校	6月26日	将監小学校4年生	64	東北運輸局	共催：東北地方整備局
仙台市	東宮城野小学校	7月1日	東宮城野小学校4年生 荒浜小学校4年生	42	宮城運輸支局	共催：仙台市、仙台市交通局、宮城野区社会福祉協議会
南陽市	JR赤湯駅	7月2日	梨郷小学校3年生	14	山形運輸支局	共催：東北地方整備局山形河川国道事務所、南陽市、山形県社会福祉協議会
仙台市	仙台医療福祉専門学校	8月28日	専門学生	42	東北運輸局	
秋田市	保戸野小学校	9月3日	保戸野小学校4年生	41	秋田運輸支局	共催：秋田市
秋田市	高清水小学校	9月4日	高清水小学校4年生	54	東北運輸局	共催：秋田市
秋田市	寺内小学校	9月10日	寺内小学校4年生	69	秋田運輸支局	共催：秋田市
秋田市	御所野小学校	9月11日	御所野小学校4年生	98	秋田運輸支局	共催：秋田市
秋田市	秋田駅前アゴラ広場	9月13日	秋田バスまつり(来場者)	100	秋田運輸支局	共催：(公社)秋田県バス協会
仙台市	楽天Koboスタジアム宮城	9月25日	原町小学校4年生	88	東北運輸局	共催：東北地方整備局、協力：宮城野区社会福祉協議会、楽天野球団、NPO法人ゆにふりみやぎ、みやぎ障害者路上競技協会
仙台市	東北工業大学	10月2日	東北工業大学大学院生	12	東北運輸局	
郡山市	トラック協会研修センター	10月21日	乗合バス・タクシー乗務員	30	福島運輸支局	共催：(公社)福島県バス協会協会 協力：福島県、(公社)福島県トラック協会、福島交通(株)
大館市	大館樹海ドーム	10月25～26日	大館圏域産業祭教育展(バリアフリー体験)来場者	112	秋田運輸支局	協力：秋北バス(株)
石巻市	釜小学校	11月11日	釜小学校4年生	14	東北運輸局	
仙台市	八乙女小学校	11月21日	八乙女小学校4年生	101	東北運輸局	
盛岡市	ふれあいランド岩手	11月25日	乗合バス、タクシー乗務員	48	岩手運輸支局	共催：岩手県社会福祉協議会、岩手県バス協会、岩手県タクシー協会
仙台市	仙台市交通局	12月3日	仙台市交通局職員	21	東北運輸局	協会：仙台市交通局

1. バリアフリー教室の取組状況②

専門学生対象



仙台医療福祉専門学校

小学生対象



楽天Koboスタジアム宮城

乗合バス乗務員対象



トラック協会研修センター

一般対象



大館圏域産業祭

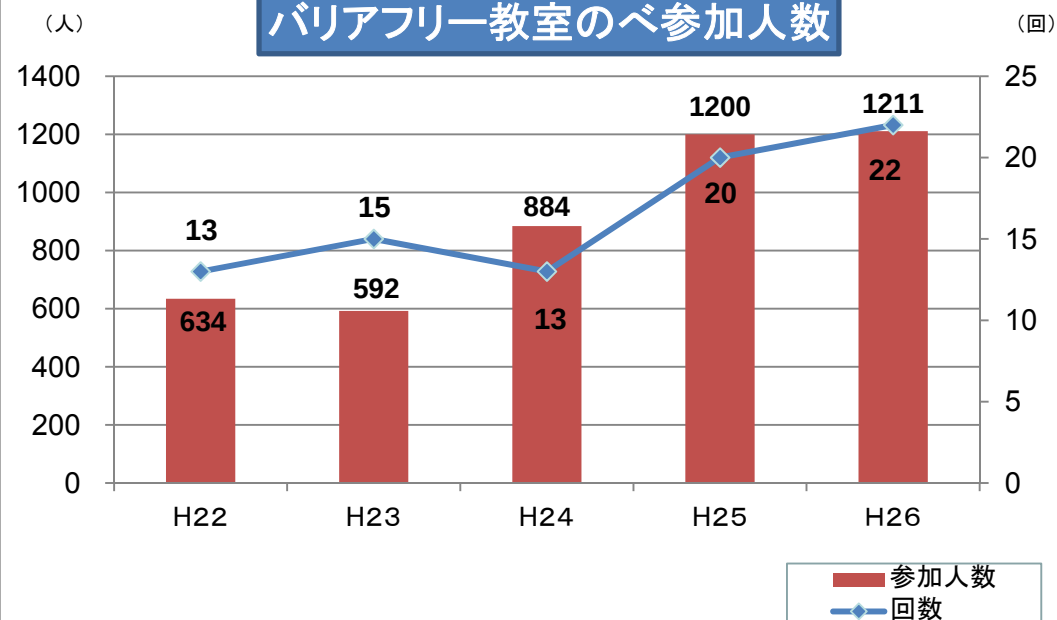
教育支援プログラム集

に掲載しています☆

東北運輸局では、みやぎ子ども教育支援ネットワーク協議会（仙台市教育局ほか）が作成し、宮城県内の小学校に配布した『教育支援プログラム集』に当局のバリアフリー教室の実施概要を掲載し、バリアフリーの必要性について積極的にアピールしています!!



バリアフリー教室のべ参加人数



2. バリアフリーリーダー連絡会議（本局主催）

様々なバリアフリー施策について、今後も継続的かつ発展的に実施していく必要があることから、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する有識者、専門家、熱心に活動を行う方々との関係を強化するためバリアフリーリーダーに出席していただき、リーダー同士のネットワーク化、バリアフリーの課題、展望、意見交換等を行うため開催。

□ 目的

バリアフリー化における有識者や専門家、熱心な活動を行う方々との関係性を強化し、現在及び今後のバリアフリー施策の推進に協力いただく人材の確保・育成を行う。

□ バリアフリーリーダーに期待する役割

～地域におけるバリアフリー化の展開、促進～

「心のバリアフリー」社会の実現



◆バリアフリー教室開催時の講師
◆バリアフリーボランティア活動の実施及び研修会の講演

専門家としての意見、提言



◆公共交通利便性向上・バリアフリー促進会議等への参画
◆バリアフリー施策に対する意見、提言

地域の啓発活動



◆バリアフリーセミナー、プロモーターの講師

地域における展開への働きかけ



◆市町村へのバリアフリー基本構想策定の働きかけ活動の参画
◆バリアフリー基本構想作成への参画

平成25年度開催状況

- 日 時：平成26年2月21日（金）
- 場 所：福島市（ホテル福島グリーンパレス）
- 共 催：東北地方整備局、東北運輸局



平成26年度開催状況（予定）

- 日 時：平成27年2月26日（木）もしくは27日（金）
- 場 所：仙台市（仙台第四合同庁舎）
- 共 催：東北地方整備局、東北運輸局

3. 公共交通利便性向上・バリアフリー促進会議（支局主催）

本会議では、交通アドバイザー（一般の交通消費者及びバリアフリーリーダー）と、関係自治体、公共交通事業者をメンバーとして、公共交通機関が提供するサービス改善やバリアフリーの促進に資する利用者ニーズとしての課題や提言等を的確に把握し各種施策へ反映させること等を目的。

人にやさしい公共交通を考える

～公共交通利便性向上・バリアフリー促進会議～

目的

- ・公共交通機関の利用者利便の向上
- ・バリアフリー化の促進

- ・地域の利用者ニーズの把握
- ・各種施策に反映するための発信

交通アドバイザー

（各運輸支局から8名程度委嘱）

学 識 経 験 者	高 齢 者 団 体	障 が い 者 団 体	通 勤 ・ 通 学 者	主 婦 ・ 外 国 人	N P O 法 人	バ リ ア フ リ ー リ ー ダ ー
-----------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------	--

関係機関等

（議題等に応じ適宜招集）

支 局 内 関 係 部 署	関 係 行 政 機 関	交 通 事 業 者 ・ 団 体	自 治 体
---------------------------------	----------------------------	--------------------------------------	-------------

平成26年度の開催状況（予定）

秋田運輸支局主催	平成26年7月16日（水）
福島運輸支局主催	平成26年12月3日（水）
岩手運輸支局主催	平成27年3月6日（金）予定

4. バリアフリー基本構想策定支援セミナーの開催

平成18年12月に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が施行されたことに伴い、多様な利用者の多彩なニーズに応え、すべての利用者がより円滑に利用できるよう、市町村による移動等円滑化基本構想の策定を支援しています。

これを踏まえ、東北運輸局及び東北地方整備局では、東北管内の自治体や交通事業者等を対象に「バリアフリー基本構想策定支援セミナー」を開催します。

平成25年度の開催状況

- 日 時：平成26年2月20日（木）
- 場 所：福島市（ホテル福島グリーンパレス）
- 参加者：地方自治体、交通事業者団体、観光関係団体、福祉関係団体ほか
- 議 題・基調講演「バリアフリー観光について（仮）」 日本バリアフリー観光推進機構 中村 元 氏
 - ・パネルディスカッション
 - ★日本バリアフリー観光推進機構 中村 元 氏
 - ★飯坂温泉 松島屋旅館 高橋 美奈子 氏
 - ★ふくしまバリアフリースツアーセンター 佐藤 由香利 氏
 - ★東北運輸局バリアフリーリーダー 浜中 智美 氏



平成26年度の開催状況（予定）

- 日 時：平成27年2月26日（木）もしくは27日（金）
- 場 所：仙台市（仙台第四合同庁舎）
- 参加者：地方自治体、交通事業者団体ほか
- 議 題：
 - ・バリアフリーの施策について
 - ・バリアフリー化の支援制度
 - ・基本構想策定、先例地の紹介 等

関東ブロックの取り組みについて

関東地方整備局 関東運輸局

関東管内バリアフリーネットワーク会議

〈平成26年度本局開催〉

- 日 時：平成26年12月18日（木）13：30～16：00
- 場 所：九段第3合同庁舎 11階 国共用会議室1
- 出席者：学識者、高齢者、障害者、施設設置管理者、関係団体、自治体等 50名
- 主 催：関東地方整備局・関東運輸局
- 座 長：中央大学研究開発機構 秋山教授



〈講演 日本発達障害連盟 松矢氏〉



〈会議の様子〉

【議事次第】

◇講演「人とまちをつなぐ交通機関～社会の架け橋に～」

「障がいのある方々や支援者のバリアフリー観について～知的障がいや発達障がいのある方々を含む当事者および支援者の意見等をめぐって～」

◇国のバリアフリーの取り組みについて

◇関東管内の各運輸支局バリアフリーネットワーク会議の概要について

◇意見交換

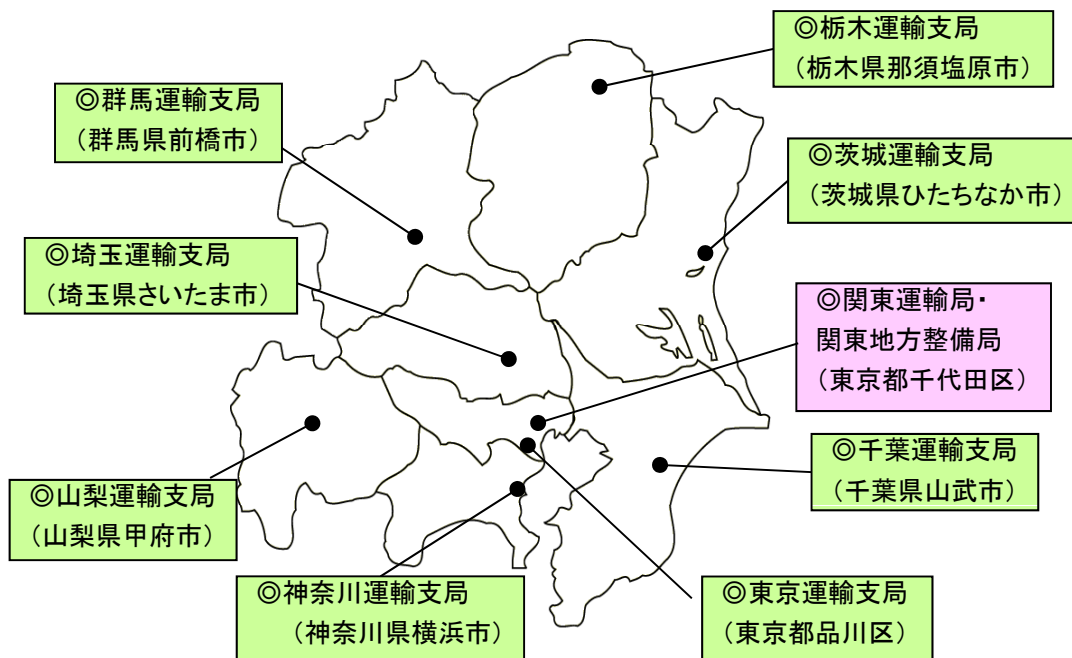
（社会福祉法人 東京都知的障害者育成会 理事 永田 直子 氏）

（公益社団法人 日本発達障害連盟 副会長 松矢 勝宏 氏）

（関東運輸局、関東地方整備局）

（埼玉・栃木・東京・群馬運輸支局）

平成26年度関東管内バリアフリーネットワーク会議開催状況



〈平成26年度支局開催〉（座長）

- ・東京運輸支局：H26.11.20（座長 宇都宮大学大学院 大森先生）
社会福祉法人東京都知的障害者育成会の講演
- ・神奈川運輸支局：H26.12.2（座長 横浜国立大学大学院 中村先生）
神奈川県立瀬谷養護学校の講演
- ・千葉運輸支局：H26.11.19（座長 日本大学 藤井先生）
山武郡市手をつなぐ親の会連絡協議会の講演
- ・埼玉運輸支局：H26.11.28（座長 東洋大学 高橋先生）
公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会の講演
- ・茨城運輸支局：H26.10.28（座長 茨城大学 山田先生）
一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会の講演
- ・群馬運輸支局：H26.11.28（座長 公立前橋工科大学 湯沢先生）
公益社団法人群馬県知的障害者福祉協会の講演
- ・栃木運輸支局：H26.12.11（座長 宇都宮大学大学院 大森先生）
一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会の講演
- ・山梨運輸支局：H25.12.5（座長 山梨大学大学院 佐々木先生）
山梨県精神障害者家族会連合会の講演

In 関東地方整備局関東技術事務所

〔開催概要〕

- 日 時：平成26年7月29日（火）13：30～16：30
- 場 所：関東地方整備局関東技術事務所
- 参加者：東葛地区の小中学校の先生方16名
- 主 催：千葉運輸支局、関東技術事務所
- 協 力：松戸新京成バス株式会社／千葉県バス協会
社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
社会福祉法人野田市社会福祉協議会
聖徳大学短期大学部、交通エコロジー・モビリティ財団
千葉県

〔プログラム〕

●オリエンテーション



●疑似体験／介助体験

- ・高齢者疑似体験
（ノンステップバス、事務所内会議室、敷地内広場）
 - ・車椅子利用体験
（ノンステップバス、敷地内スロープ）
 - ・視覚障がい者疑似体験
（ノンステップバス、敷地内点字ブロック、スロープ）
- ※いずれも、障がい当事者（視覚・車椅子）とともに体験。



●質疑応答及びまとめ



参加者の感想

- ・障がい当事者の話をもっと多く聞きたかった。
- ・高齢者社会へ向けて、今よりも全ての人が暮らしやすい社会を作っていくべきと感じた。
- ・障がいを持つ人の立場を体験してはじめて、バリアフリーの充実や周囲の方の助けがどれだけ重要なのかということが理解することができた。
- ・今年度中に福祉の学習を行う予定があるので、本教室でいただいた資料を活用しながら進めたい。



鉄道駅でのバリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成26年6月23日（月）13:00～16:00
- 場 所：東京メトロ南北線「東大前駅」、東京大学
- 参加者：東京大学工学部 42名
- 講 師：文京区肢体障害者協会 小西慶一先生
文京区視覚しょうがい者協会 吉田美奈子先生
- 主 催：関東運輸局
- 後 援：東京地下鉄株式会社
- 協 力：文京区社会福祉協議会



小学生と保護者を対象にしたバリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成26年5月28日（水）9:45～12:05
- 場 所：高崎市立西部小学校
- 参加者：小学4年生42名、5年生49名、保護者47名
- 主 催：群馬運輸支局
- 共 催：一般社団法人群馬県バス協会／群馬県ハイヤー協会
- 協 力：高崎市立西部小学校／社会福祉法人群馬県社会福祉協議会
社会福祉法人高崎市社会福祉協議会／高崎市市民部地域交通課
株式会社群馬バス／上信電鉄株式会社／榛名観光株式会社



「交通安全・環境フェア」内バリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成26年11月15日（土）13:00～15:00
- 場 所：埼玉スタジアム2002（埼玉県さいたま市）
- 参加者：70名（一般来場者）
- 主 催：埼玉運輸支局
- 協 力：一般社団法人埼玉県バス協会
社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会緑区事務所
国際興業株式会社



社会福祉協議会と連携したバリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成26年8月26日（火）15:00～16:30
- 場 所：横浜市立日限山小学校
- 参加者：教職員 23名
- 主 催：関東運輸局
- 協 力：社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会
一般社団法人神奈川県バス協会、株式会社江ノ電バス横浜
一般社団法人神奈川県タクシー協会、神奈川県都市交通株式会社



北陸地方整備局・北陸信越運輸局 の取り組みについて

北陸地方整備局
北陸信越運輸局

1. 基本構想作成促進について

2. 地域連絡会議の開催

1. 基本構想作成促進について

現 状	自治体が基本構想を作成しない理由	対応策と課題
・北陸信越運輸局管内の141市村のうち、基本構想を作成済みの市町村は16市町(11.3%)、明確に作成を予定している市町村は2市村(1.4%)のみ。 ・平成22年4月以降、管内では基本構想作成がなく頭打ちである。	●基本構想に位置づける事業が具体化していない。 ●ニーズの把握ができていない。 ●関係部局が複数にわたっている。 ●施設管理事業者との調整が必要。 ●自治体内にすでに計画があり、推進している。 ●利用者数が少なく、整備効果が薄い。 ●近年整備された建物についてはバリアフリー化されている。 ●事業が幅広く、組織としてバリアフリー全体を把握しきれない。 ●投資的経費は負担が大きい。 ●補助対象の拡大や補助率の嵩上げ等、財政的支援が必要である。 (※平成25年度 北陸信越運輸局管内 基本構想作成予定等調査結果より)	＜基本構想作成予定等調査結果による対応＞ 調査結果のうち、『バリアフリーの推進に関して、国の施策として望むこと』の項目からバリアフリープロモーター派遣等各自治体が希望する対応及び情報提供を行う。 ＜バリアフリープロモーター派遣事業の限界＞ 左記、『自治体が基本構想を作成しない理由』から、自治体が「基本構想を作成することが望ましい」と考えていても実行できていない。自治体の中にはすでにマスタープランがあり、一定のバリアフリー化ができている場合もある。必ずしも基本構想作成する必要がないという自治体もある。

2. 地域連絡会議の開催

バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会議

北陸地方整備局及び北陸信越運輸局では、バリアフリー法の施行に伴い、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する事業や施策を継続的、発展的に推進する上で、関係者の意見調整や心のバリアフリーの更なる推進に尽力する人材等のニーズが想定されることから、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する有識者、専門家、熱心に活動を行う者及び行政等との関係を強化し、今後のバリアフリー施策の推進に協力をして頂ける人材の確保・育成及び意見・情報交換等を行う場として、平成21年3月から「バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会議」を設置している。

平成26年度は公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団との共催で管内(新潟県、長野県、富山県及び石川県)の公共交通事業者(鉄軌道・バス・旅客船等)を対象に「公共交通事業者向けバリアフリー研修会」を開催し、プログラム中に「第7回バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会議」を組み込んだ。



3. バリアフリー教室

横越小学校(新潟県新潟市)【主催 北陸地方整備局 北陸技術事務所】

【開催日及び参加者数】

- ・平成26年6月6、11、12日
- ・小学4年生90名

【概要】

構内体験施設を利用した、

- ・車いす介助体験
- ・視覚障がい者介助体験
- ・高齢者介助体験



【参加者の意見】

- ・前も後もわからないので視覚障がいが一番大変だと思った。
- ・障がいを持っている人を見かけたら助けられるようにしたい。

鳥屋野小学校(新潟県新潟市)【主催 北陸地方整備局 北陸技術事務所】

【開催日及び参加者数】

- ・平成26年10月30、31日、11月5、6日
- ・小学4年生140名

【概要】

構内体験施設を利用した、

- ・車いす介助体験
- ・視覚障がい者介助体験
- ・高齢者介助体験



【参加者の意見】

- ・高齢者体験はヘッドフォンをして声が聞こえなかった。ごーぐるをしたときは赤がピンクに見えた。ひざとかがあんまり動かなかった。見かけたら助けてあげたい。

新潟県立大学(新潟県新潟市)【主催 北陸信越運輸局】

【開催日及び参加者数】

- ・平成26年11月5日
- ・大学3年生38名

【概要】

- ・肢体及び知的障がい者からの講話
- ・車いす体験



【参加者の意見】

- ・押す人には重大な責任があるから、車イスを止めるとき、その場を離れるときには、確認をし、責任を持ってブレーキをかけるようにしたい。障がいのある方の思っていることを直接きくことができ、また普段どのように生活し、何を感じているのかを知ることができ、よかった。
- ・スロープのついたバスが何時にどのバス停にくるのかという情報がないことから、何本もバスを見送ったり、屋根のないバス停で待つといった現状には、驚かされ、大変な思いをしているのだと強く感じた。

南部小学校(富山県滑川市)【主催 北陸信越運輸局 富山運輸支局】

【開催日及び参加者数】

- ・平成26年11月20日
- ・小学4年生31名

【概要】

- ・車いす体験
- ・車いすクイズ、体験内容に関する話し合い等



【参加者の意見】

- ・私は点字ブロックがあって困る人はいないと思っていた。けれど、車いすの人は点字ブロックがあるとすごく困るのがわかった。もし点字ブロックなどがあるとよくて、ないところを見つけてあげて、そこを通らせてあげたい。
- ・車いす体験で出発する時、「行きますよ」と相手に声をかけたらその後「安心した」と言ってくれた。次に車いすに乗った時、声をかけてもらって私も安心しました。戸を開ける体験もとてもむずかしかった。

反省と課題

- ① 知的障がいのある方を講話講師として招へいし、参加者にお話しいただいたバリアフリー教室を開催することができ、今後に繋がるものとなった。
- ② 運輸局主催のバリアフリー教室では、環境課とのタイアップにより、交通環境とバリアフリーについて同時に考えることができる教室を実現することができた。両課での開催とすることで人員面の負担が軽減できた。
- ③ 一方で、バリアフリー教室では、他機関との連携や受講対象が限定的という課題があった。

中部ブロックの取り組みについて

中部地方整備局 中部運輸局

(1)中部バリアフリー連絡会議

●「平成25年度中部バリアフリー連絡会議」を開催

【日時】 平成26年2月26日(水)13時30分～16時30分

【構成員】・有識者 4名
・交通事業者団体等 5団体
・高齢者、障害者団体、NPO等 9団体
・行政機関(国・県・政令指定都市) 5県、3市等

【議事】(講演)「バリアフリーと視覚認知 カラーユニバーサルデザインを例に」 豊橋技科大 中内教授
(資料説明)・全国のバリアフリー施策の取組状況
・中部地域のバリアフリー整備進捗状況
(意見交換) 事前アンケート(施設の作り方、使われ方、社会・人の支え合い)をもとに意見交換

* 出された意見、課題等

- ・文字情報は、聴覚障害者だけでなく全ての人に役に立つので充実させて欲しい。
- ・知的障害者にとって、スクランブル交差点や女性専用車両が理解できない。
- ・障害者割引切符を購入する際、手話通訳や筆談が大変であったり、車いす対応席を買う際に大変手間がかかり、障害者の社会参加のバリアのひとつになっている。
- ・障害者のためではなく、みんなが便利になる施策であるという意識を持って欲しい。
- ・地域間格差が確実に広がっており、地方部の障害者等が取り残されないよう考えて欲しい。

●「平成26年度中部バリアフリー連絡会議」を開催予定

【日時】 平成27年2月25日(水)

【議事】 (1)バリアフリー化の現状について
(2)バリアフリー施策の取組について
(3)中部地方におけるバリアフリー化の今後の課題について(意見交換)

(2) バリアフリー教室

● 開催状況（14回）

愛知県 名古屋市（1／14）

静岡県 沼津市（10／9）、静岡市（11／6）、三島市（11／19）、静岡市（12／2）

岐阜県 関ヶ原町（8／21）、大垣市（10／5）、高山市（11／9）、関市（11／28）、
中津川市（12／7）

三重県 津市（9／20、21）

福井県 福井市（6／30、7／1）、福井市（11／20）、福井市11／26）

● 現状

・参加対象 小学生9回、中学生1回、一般4回

・体験内容 車いす体験、視覚障害体験等

* 小学校、中学校からの開催要請に応える形での開催10回、各種イベントでの開催が4回となっており、内容も固定化されてきている。

● 課題

・学校側の希望でもある車いすでの乗車体験に使用する車両の借上費用が高額となっており、予算内での開催が難しくなっている。

・知的障害、発達障害、精神障害のある方への理解や対応方法の普及・啓発についての取り組みができていない。

バリアフリー基本構想

○愛知県阿久比町

- ・名鉄阿久比駅は、乗降客が5,000人を超えており、バリアフリー化が急務であった。
- ・26年8月「阿久比駅周辺バリアフリー基本構想」作成済み

○岐阜県各務原市

- ・「第1回新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会」に、中部運輸局及び岐阜支局よりアドバイザーとして参加(第2回からは支局のみ参加)。
- ・各務原市内で平均利用者3,000人以上の駅は5駅あるが、他の4駅は概ねバリアフリー化が整備されており、新那加駅周辺の整備が課題となっている。
- ・26年度内に協議会を3回開催予定。

バリアフリー障害当事者リーダー養成研修

- 11月7日、8日に東横INN中部空港本館で開催された、「2014年度バリアフリー障害当事者リーダー養成研修実行委員会」主催の養成研修の1コマ「バリアフリー法の概要」の講義を担当。

近畿ブロックの取り組みについて

近畿地方整備局

近畿運輸局

神戸運輸監理部

■第3回近畿地域バリアフリーネットワーク会議

主 催：近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、大阪航空局

日 時：平成26年12月19日（金）14:00～16:00

場 所：大阪合同庁舎第4号館10階 海技試験室

出席者：バリアフリーリーダー、高齢者団体、障がい者団体(身体障害・視覚障害・聴覚障害・知的障害)、鉄道事業者、鉄道事業者団体、バス事業者団体、タクシー事業者団体、旅客船事業者団体、自治体(府県・政令指定都市)、国(近畿地方整備局・近畿運輸局・神戸運輸監理部・大阪航空局)

テーマ：旅行観光の際の移動手段の確保とバリアフリーに関する情報提供」

内 容：①バリアフリー施策の取り組みの現状

②平成26年度会議テーマの趣旨説明

③府県別バリアフリーネットワーク会議からの報告

大阪府バリアフリーネットワーク会議

兵庫県バリアフリーネットワーク会議

滋賀県バリアフリーネットワーク会議

京都府バリアフリーネットワーク会議

奈良県バリアフリーネットワーク会議

和歌山県バリアフリーネットワーク会議

④取り組み事例紹介（京都市・奈良市）

⑤意見交換

特徴的な意見・要望等

- ・施設等のハード面でのバリアフリー化は進んでいるが、当事者参加及び心のバリアフリーが課題である。
- ・景勝地や歴史的・文化的建造物等のバリアフリー化とともに、そこに至る経路のバリアフリー化も必要である。
- ・多機能トイレを利用できないケースが増えている。既設の障害者対応トイレの改修ではなく、新たに設置するか、一般便所を改修し、絶対数を増やすことが必要。計画論がないままユニバーサルデザイン化を進めた結果、肝心な人が使えないといった問題を抱える不具合が出ている。
- ・視覚障害者が点字ブロックを辿って単独で移動できるのは移動訓練をした経路であり、そうした経路にならないところに設置することは効果がない。路面標示の併用設置や、ブロックに避難誘導経路の情報をもたせるなど有効活用できるのではないか。
- ・ピクトグラムを知的障害者にもわかりやすく統一したものを作成していただきたい。



■大阪府バリアフリーネットワーク会議

開催目的

全国的にも知名度が高く、商業、娯楽、文化等の観光資源が高度に集積し、外国人を含めた旅行者が増大している大阪「ミナミ」の道頓堀界隈において、高齢者や障害者、外国人旅行者が円滑に旅行、観光できる環境整備の在り方や、情報提供の方法等に関し、幅広く意見交換を行うこととして実施した。また、当日、意見交換の前に、旅行者（高齢者・障害者）の観光行動に即した目線から、商店街や周辺施設等におけるハード面の改善と人的介助等のソフト的対応の必要性についての議論の題材とすべく会議出席者による道頓堀界隈での「まち歩き」を行った。

開催概要

＜大阪府バリアフリーネットワーク会議＞

○まち歩き

日 時：平成26年12月5日（金）13:00～14:00

場 所：道頓堀界隈

参 加 者：千日前商店街～道頓堀商店街～とんぼりリバーウォーク

参 加 者：大阪府バリアフリーネットワーク会議出席者14名

○意見交換

日 時：平成26年12月5日（金）14:00～16:00

場 所：ホテルメトロThe21 会議室

議 事：①道頓堀川水辺整備事業について

②本日の実体験についての意見交換

③その他の観光地等についての意見交換

④その他

委員構成（出席17名）

大阪市立大学大学院 工学研究科 教授 日野 泰雄（座長）

障害者相談支援センター わらしべ（センター長）

わらしべ（肢体障害者）

わらしべ（視覚障害者）

社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会 副理事長

千日前商店街振興組合 理事長

道頓堀商店会 副会長

近畿地方整備局 大阪国道事務所

大阪府 住宅まちづくり部 建築指導室 建築企画課

大阪府 都市整備部 交通道路室 道路環境課

大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課

大阪市 都市計画局 開発調整部 開発誘導課

近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課

近畿運輸局 大阪運輸支局

議事概要

1. まち歩き

観光地化された商店街界隈でのバリアフリー化の現状を把握し、意見交換の題材とするために、障害当事者及び行政機関の職員によるまち歩きを実施した。

○千日前商店街・道頓堀商店街

商店街通りに面した多くの店舗で、入口の段差が解消されている。大阪市によれば、特段、バリアフリー化施策として整備したものではないが、各店舗が改築時に入口を路面の高さに合わせていった結果、段差解消がなされていったとのこと。

道頓堀通りでは観光客による人混みの中で、往来の方向が定まっておらず、障害者にとって通行が困難な場所となっている。

○とんぼりリバーウォーク

大阪市では、親水性のある、にぎわいあふれる空間を創造するため、道頓堀川の両岸に川とまちを一体化した遊歩道（とんぼりリバーウォーク）を建設、整備した。河川の占用物としての通路であり、バリアフリー整備基準等は存在しないが、スロープ、2段手摺り、警告ブロックの設置等が行われている。

多くの障害者にとって単独で来ることは困難であるが、雰囲気を感じ、楽しめる場所となっている。



2. 特徴的な意見・要望

○知的障害者にとって人混みの中を歩くことは困難。トイレなども往来では見つけにくく、駅の改札口など決まった場所で情報提供があればありがたい。トイレ等のピクトグラムの統一を望む。（知的障害者）

○全盲者や強度の弱視者は、移動訓練を受けた経路しか単独で移動することはできず、一般的な経路では介助者を必要とする。施設設置者は、そのことを理解しないで施設整備を行っており、想定が非常にあまいものになっている。

○視覚障害者は、海の風、雰囲気を感じる、音楽や乗り物が体感できるといったことを楽しみに旅行を企画する。「特別なものを感じることができる」「行ってきたよ」と人に話ができるところに行きたいと思う。（視覚障害者（弱視））

○商店街は混雑に加え、人の往来の方向が定まっておらず、障害者にとって歩きにくい。

○観光情報やバリアフリー情報をひとつにしたマップを作成してほしい。

（肢体障害者）

■京都府バリアフリーネットワーク会議

開催目的

世界一の観光都市京都において、高齢者や障がい者のみならず、外国人や子供連れ、地理に不案内な旅行者が安心・安全、快適に観光ができるようにという観点から、京都市東山区における産官学一体となった取り組みや京都市の観光行政としての取り組みなどの事例をもとに課題の抽出と意見交換等を実施した。

開催概要

日時：平成26年10月17日（金）14:00～16:00
場所：近畿運輸局 京都運輸支局 会議室
議題：①趣旨説明
②先進的な取り組み事例の紹介
③自治体・交通事業者の取り組みやそれぞれの立場から見た方策・提言等
④障害者・高齢者の実体験の紹介や提言
⑤意見交換（自由討議）

委員構成

京都文教大学 総合社会学部 教授 森 正美（座長）
公益社団法人 京都市身体障害者団体連合会
公益社団法人 京都府視覚障害者協会
京都文教大学 学生（肢体障害）
京都文教大学 学生（聴覚障害）
一般社団法人 京都市老人クラブ連合会
京都市交通局
近畿日本鉄道株式会社
京阪バス株式会社
キャビック株式会社（送迎・福祉・京都観光タクシー）
一般社団法人 京都府観光連盟
近畿地方整備局 京都国道事務所
京都府 建設交通部 交通政策課
京都府 商工労働観光部 観光課
京都府 健康福祉部 福祉・援護課
京都府 健康福祉部 障害者支援課
京都市 都市計画局 歩くまち京都推進室
京都市 産業観光局 観光MICE推進室
近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課
近畿運輸局 京都運輸支局
（オブザーバー）
京都市 東山区役所
京都産業大学 経営学部 准教授及び学生（事例発表）



議事概要

《先進的な取り組み事例の紹介等》

1. 京都産業大学及び京都市東山区役所の取り組み
《東山車いす散策マップの作成と観光支援コミュニティ「京都東山観光おもてなし隊」》
①車いす観光散策マップの作成（6コース）
②東山車いすツーリズム3ディズの実施
③観光支援コミュニティ「京都東山観光おもてなし隊」の創設（41店舗加盟：H26.11時点）
④車いす無料貸し出し事業
⑤東山おもてなし学校の開校（講習会の開催と「東山おもてなし隊員」認定）
⑥「めしあがれ。東山」＊飲食店における食物アレルギー対応について計画中
2. 京都市の取り組み（歩くまち京都推進室及び京都市観光MICE推進室）
①見ないで楽しむ京の旅（みやこユニバーサル観光のすすめ）
②歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」
③G空間シティ構築事業
④京都ユニバーサル観光ナビ（ゆにナビ）
＊観光モデルコース、京都ユニバーサルツーリズム・コンシェルジュ制度等の紹介
3. 京都市交通局の取り組み（京都市交通局）
①京都駅前バスターミナル旅客案内機能の充実
②市バスの「わかりやすさ向上」のためのデザインマニュアルの策定と案内表示の一新

触って楽しむ



模型：
龍安寺石庭

《特徴的な意見・要望》

- バリアフリー化の取組みは、障害当事者が参加した検証が望まれる。（肢体障害者）
- 清水寺は車いすでも拝観できるようバリアフリー化されているが、駐車場から舞台までの経路がバリアフリー化されているとは言い難い。（肢体障害者）
- 観光情報等は、観光協会、障害者団体、ボランティア団体など複数の組織が情報共有やワンストップにより入手できる組織連携の取組みが望ましい。（肢体障害者）
- 博物館等でFM放送を利用した解説放送や触覚による展示があれば視覚障害者も楽しめる。（視覚障害者）
- 盲導犬が入れない飲食店が多い。経営者への理解促進が必要。（視覚障害者）
- 市バス利用時に、混雑で背の高い人に囲まれたときに「行き先表示」が見えないことがあるが、どこからでも見える工夫をお願いしたい。

■兵庫県バリアフリーネットワーク会議

開催目的

本年度NHK大河ドラマ「軍師勘兵衛」の放送を機に、地元の観光振興及び地域経済の活性化を推進しようとしている姫路市など、兵庫県中・西播磨地域の取り組み事例を紹介するとともに、観光施設等のハード面の改善や人的介助等のソフト的対応の充実に向けた取り組みについて幅広く意見聴取を行うこととして実施した。

開催概要

日時：平成26年5月12日（月）13:30～15:30
場所：姫路国際交流センター（イーグル姫路4階）
議事：①観光地におけるバリアフリー化の現状報告
②先進的な取り組み事例の紹介
・姫路城大天守保存修理事業
・赤穂海浜公園
③当事者等の実体験の紹介
④意見交換

委員構成

兵庫県立福祉のまちづくり研究所 北川博巳（座長）
特定非営利活動法人 姫路市身体障害者福祉協会
特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会
特定非営利活動法人 姫路地区手をつなぐ育成会
公益財団法人 兵庫県老人クラブ連合会
西日本旅客鉄道株式会社
山陽電気鉄道株式会社
神姫バス株式会社
公益社団法人 兵庫県バス協会
公益社団法人 姫路観光コンベンションビューロー
兵庫県 健康福祉部 障害福祉局 障害者支援課
兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課
兵庫県 県土整備部 まちづくり局 都市政策課
兵庫県 産業労働部 国際局 観光交流課
姫路市 都市局 まちづくり推進部 まちづくり指導課
姫路市 産業局 姫路城総合管理室 姫路城管理事務所
姫路市 観光交流推進室
近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課
神戸運輸監理部 総務企画部
兵庫県立福祉のまちづくり研究所（オブザーバー）

議事概要

1. 観光地におけるバリアフリー化の現状報告
事務局より、観光地におけるバリアフリー化の実態や移動の問題点など、高齢者、障害者等の旅行・観光を取り巻く状況や課題について報告した。

2. 先進的な取り組み事例の紹介

<姫路城大天守保存修理事業>

姫路城大天守保存修理事業においては、大天守を覆う修理見学施設「天空の白鷺」を開館し、全国では初めての文化財の保存修理の現場を常時公開する取り組みを行った。

館内にはスロープやエレベーターを整備し、また、城内には仮設スロープを設置するなど、連続したバリアフリー化経路の整備に努め、車いす利用者の見学を可能とした。



姫路城大天守保存修理事業の様子

<赤穂海浜公園>

赤穂海浜公園は修景施設、遊技・休憩施設、教養施設、宿泊施設からなり、地域の自然環境や赤穂の歴史的背景を活かしながら、若年層、家族づれ、高齢者がともに、「ふれあい、楽しく憩える公園」、「身近な生活環境に潤いと安らぎを与える公園」として、県民に広く提供されている。



赤穂海浜公園「園内マップ」

3. 特徴的な意見・要望

○視力障害者は、視覚による位置表示は「読みづらい」あるいは「読めない」ので「尋ねる」ことが基本となるが、旅行などで初めて訪れるところでは目的地がわからないが、そのことが理解されにくい。（視覚障害者）

○観光地では、トイレへの場所がわからずに困ることが多い。トイレへのルート表示もあまりなく、あっても見にくく、見つけ辛い。（肢体不自由者）

○パンフレット等では、各施設の間合せ先の情報として電話番号が載っているが、聴覚障害者は電話ができないので、FAXやメール、テレビ電話などで対応できるようにして欲しい。（聴覚障害者）

■奈良県バリアフリーネットワーク会議

開催目的

高齢者や障害者の旅行者が円滑に旅行・観光できる環境整備の促進、情報提供の充実等に関して議論し、施策のアイデアを求めることとして実施した。また、本会議の開催にあわせ、本会議の参加者である観光ボランティアガイドの方々を対象に「バリアフリー教室」を実施し、障害者にとっての観光の楽しみ方や、観光情報の提供の在り方等について理解を深めた。

開催概要

○バリアフリー教室（奈良市観光ボランティア教室）

日 時：平成26年10月31日（金）10:00～12:00

場 所：奈良市中部公民館及び奈良市観光センター周辺

参加者：奈良市観光ボランティアガイド 21名

○奈良バリアフリーネットワーク会議

日 時：平成26年10月31日（金）13:30～15:30

場 所：奈良市中部公民館 4階 第4講義室

基調講演：「視覚障害者にとっての奈良観光の楽しみ」

全国視覚障害者支援連絡会会長 釜本美佐子氏

議 事：①バリアフリー及び情報提供に関する取り組みについて
・基調講演の感想、バリアフリー教室の感想等
・ユニバーサルツーリズム事業者の取り組み紹介
②意見交換（自由討議）

委員構成

奈良女子大学 生活環境学部 講師 室崎 千重（座長）

全国視覚障害者外出支援連絡会

ヒューマンヘリテージ株式会社

NPO法人 なら・観光ボランティアガイドの会

公益社団法人 奈良市観光協会

奈良交通株式会社

近畿日本鉄道株式会社

西日本旅客鉄道株式会社

公益社団法人 奈良県バス協会

一般社団法人 奈良県タクシー協会

奈良県 県土マネジメント部 道路環境課

奈良市 市民生活部 交通政策課

近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課

近畿運輸局 奈良運輸支局



議事概要

1. 基調講演

通訳案内業やツアーコンダクターとして海外添乗をされ、その後、網膜色素変性症を発症し、現在は視力を失われた、日本視覚障害者サッカー協会理事長であり全国視覚障害者外出支援連絡会会長である釜本美佐子氏より、視覚障害者にとっての旅行の楽しみについて講演頂いた。

○寺で念仏の声や、神社で巫女さんが踊り、笛や太鼓の音などを聴くのは楽しい。

状況の説明を健常者と同じものでなく、障害を意識したものだと、もっと楽しい。

○寺社仏閣の階段でしか移動出来ない場所へは、ツアーで行くと、危ないからと言って視覚障害者は連れて行ってもらえない。視覚障害者でも、歩くことは出来る。

○買い物や食事でも楽しみなので、細かな説明をされるとうれしい。

○人間には、五感がある。視力を失っても他の感覚は生きている。



2. バリアフリー教室の感想

実際に体験して初めて気づいたことがある。一部の者だけが体験するのではなく、ボランティアガイド全員が体験し、障害者や高齢者等を理解して、どういうガイドをしたらいいのか気づくことが必要であると感じた。

3. ユニバーサルツーリズム事業者の取り組み紹介

＜介護タクシーを利用した旅行・観光サポート事業＞ヒューマンヘリテージ株式会社

「行ける場所ではなく、行きたい場所へ」をコンセプトに、経験豊富なスタッフが介護タクシーを利用して旅をサポートする。

＜東大寺の取り組み＞奈良市

車いすでの通行、さらにベビーカーでの通行に配慮して、敷石を工夫した参道の整備を行っている。

4. 特徴的な意見・要望（視覚障害者）

○観光地のバリアフリー観光情報が、ひとつの場所で情報収集できるといい。

○視覚障害者を多目的トイレに案内する方が多くいるが、部屋が広すぎて、トイレの中で迷子になってしまう。

○奈良市は、国際文化観光都市としての特性等を踏まえた観光振興の視点でも、バリアフリー施策に取り組んでいる。

■滋賀県バリアフリーネットワーク会議

開催目的

滋賀県の代表的な観光資源である琵琶湖を題材に、高齢者や障害者の旅行者が円滑に旅行、観光できる環境整備の在り方や、情報提供の方法に関し、幅広く意見交換を行うこととして実施した。また、本会議の開催にあわせ、会議出席関係機関の参加による「バリアフリー教室」を京阪浜大津駅及び大津港ターミナル、クルーズ船「ミシガン」において実施し、旅行者（高齢者・障害者）の観光行動に即した体験を通じて、旅行者（高齢者・障害者）目線から、観光関連施設におけるハード面の改善と人的介助等のソフト的対応の必要性について理解を深めた。

開催概要

○バリアフリー教室（大津教室）

日時：平成26年11月13日（木）10:00～12:00

場所：京阪浜大津駅及び大津港旅客ターミナル、クルーズ船「ミシガン」

参加者：滋賀県バリアフリーネットワーク会議出席関係機関16名

○滋賀県バリアフリーネットワーク会議

日時：平成26年11月13日（木）13:25～15:50

場所：大津港旅客ターミナル集会室、クルーズ船「ミシガン」

議事：①介護旅行の取り組み事例紹介及び滋賀県ユニバーサルツーリズム推進事業の活動報告
②情報提供及び意見交換

委員構成

立命館大学 経営学部 教授 佐藤典司（座長）

大津市身体障害者更生会

大津視覚障害者協会

大津市老人クラブ連合会

京阪電気鉄道株式会社

琵琶湖汽船株式会社

公益社団法人 びわこビジターズビューロー 体験教室の様子

公益社団法人 びわ湖大津観光協会

株式会社どこでも介護

滋賀県 商工観光労働部 観光交流局 しがの魅力企画室

滋賀県 土木交通部 交通政策課

大津市 健康保険部 健康長寿課

大津市 福祉子ども部 障害福祉課

大津市 産業観光部 観光振興課

大津市 建設部 交通・建設監理課

近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課

近畿運輸局 滋賀運輸支局



議事概要

1. 介護旅行の取り組み事例紹介及び滋賀県ユニバーサルツーリズム推進事業の活動報告

（1）介護旅行の取り組みについて

＜取り組みの理念＞

- ①いくつになっても出かけられる社会を創る。
- ②旅を通じて人をつなげ、心をつなげる。

（2）滋賀県ユニバーサルツーリズム推進事業

＜事業目的＞

要介護高齢者や障害者の方々が観光を楽しむことが出来る「ユニバーサルツーリズム」を推進し、新たな観光需要の創出を図る。

＜事業内容＞（委託事業者：株式会社どこでも介護）

①県内バリアフリー事情調査（120箇所）

県内120箇所の観光地・ホテル・レストランを現地調査し介護者目線によるお出かけ情報として取りまとめる。

②要介護者モニターツアーの実施（旅行ルートの開発）

車いすでも行ける旅行ルートを設定し、年4回以上そのうち1回は宿泊旅行として実施する。

③要介護者旅行事業を担う人材の育成

ハローワークより3名の人材を雇用し、旅行業社に必要とされる知識、技術の向上に努める。（介護職員初任者研修や介護技術講習の受講他）

④受入れ環境の整備

旅行者、ビジターズビューローなどと連携し、受入れ環境整備を進める。

2. 特徴的な意見・要望

○旅行をする場合、色んな情報が全てそこにあるということがないので、どうしても下見をしなければ行けない。（肢体障害者）

○UDトイレを作るときは身障者用トイレを改修するのではなく、新しく作るか一般のトイレを改修するなどし、より多くの人に利用できるようにして欲しい（肢体不自由者）

○一番困るのがトイレである。音声案内があれば助かる。（視覚障害者）

○高齢者の場合、駅や施設に入るとエレベーターやエスカレーターをすぐに探すので目に付きやすい表示にして欲しい。（高齢者）

【サービス内容】

- ①オーダーメイド旅行の企画
- ②「お出かけ」の介助
- ③バリアフリー情報の提供
- ④介護タクシーでの移動



モニターツアーの様子

和歌山県バリアフリーネットワーク会議

開催目的

和歌山県バリアフリーネットワーク会議は、2015年に開催される和歌山国体をはじめ、高野山開創1200年記念大法会など、大きなイベントを抱えた和歌山県において、より多くの人に和歌山を訪れてもらえるための観光のバリアフリー化の取り組みや情報提供の実情を事例に、幅広く意見交換等を行うこととして実施した。

開催概要

日時：平成25年11月1日（金）13:30～15:30
場所：和歌山県民文化会館6階 特別会議室B
議題：①バリアフリー及び情報提供に関する取り組み報告
②取り組み紹介・調査報告
・和歌山市
・高野町
・WACわかやま
③実情及びご意見
④自由意見交換

委員構成

和歌山大学 経済学部 教授 辻本 勝久 （座長）
和歌山県身体障害者連盟（視覚障害者部会）
和歌山県身体障害者連盟（聴覚障害者部会）
和歌山県身体障害者連盟（肢体障害者部会）
NPO法人 和歌山県自閉症協会
NPO法人 WACわかやま
西日本旅客鉄道株式会社 社和歌山支社
南海電気鉄道株式会社
公益法人 和歌山県バス協会
和歌山県観光連盟
和歌山県 福祉保健政策局 障害福祉課
和歌山県 企画部 総合交通政策課
和歌山市 政策推進部 交通政策課
高野町 企画財政課
近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
近畿地方整備局 紀南河川国道事務所
近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課
近畿運輸局 和歌山運輸支局

議事概要

1. バリアフリー及び情報提供に関する取り組み報告
近畿運輸局及び和歌山県より、バリアフリー施策の取り組みの現状について報告すると共に、JR西日本、南海電鉄より、バリアフリー及び情報提供に関する取り組みについて報告を行った。

2. 取り組み紹介・調査報告

①和歌山城おもてなし充実事業「忍者と一緒に和歌山城！」について（和歌山市）
和歌山市の主要な観光拠点である「史跡和歌山城」において、平成23年度から、電動アシスト車いす等を利用して、忍者等の格好をしたスタッフが人力で天守閣前までお連れする事業をスタートさせた。



②高野町におけるバリアフリー化、情報提供に関する現状及び今後の計画（高野町）
高野町にある世界遺産「高野山」には年間130万人の参拝客・観光客が訪れる。このため町では、公衆トイレや歩道のバリアフリー化、案内標識のUD化等に積極的に取り組んできた。さらに町全域のバリアフリー化を進めるため、平成18年12月に「高野町移動円滑化基本構想」を策定した。



③「旅サポート」事業について（WACわかやま）



高齢者の方にもっと和歌山県内を旅してもらうことをテーマとして、県内の観光地等の調査や専用サイト開設による情報の発信、サポーターの育成等に取り組んでいる。

3. 特徴的な意見・要望

- 視覚障害者にとって旅行するのは大変、一人では無理なところがある。表に出れば自転車が歩道を走ってきたり、看板にぶつかったりする。（視覚障害者）
- 電車が遅れるなど、何か事故が起きた時の案内表示がないため、目的地まで着けないことがある。（聴覚障害者）
- 係員がいる窓口でタッチパネルがあって、行き先を選べたら非常に上手くなるし、そのような物があれば良いと思う。（自閉症）
- 和歌山は気楽に寄れるお店の案内が少ないと言われている。和歌山のおもてなしの心をいっぱい発掘して多くの観光客などに情報を発信したらいいと思う。（高齢者）

■平成26年度 バリアフリーなまちづくりを考えるつどい

バリアフリーなまちづくりを考えるつどいは、バリアフリーに関する調査研究や先進的な取組事例等を発表し、広く普及させることにより、バリアフリーの段階的・継続的な進展に寄与することを目的に近畿地方整備局、神戸運輸監理部、大阪航空局との4官署共催で開催している。平成26年度は、近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰を受賞した取組事例の発表と、近畿大学三星氏による記念講演を実施。

主 催：近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、大阪航空局

日 時：平成26年11月6日（木）14:00～16:00

場 所：大阪歴史博物館 4階 講堂

参加者：公共交通事業者、関係団体、自治体 他 204名

内 容：①取組み事例発表

◇地域・学生・行政の連携による観光支援コミュニティの創設
[京都市東山区役所・京都産業大学]

◇「ゆりかごタクシー」による妊産婦の移動支援活動
[特定非営利活動法人マイママ・セラピー]

◇文化財の保護、保存事業の実施とあわせた観光バリアフリーの取組み
[姫路市]

◇ヨットを通じたノーマライゼーション運動の先駆的な取組み
[立命館大学ヨット部]

②講評

田中 直人（島根大学大学院 総合理工学研究科 特任教授）

岡田 明（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授）

③記念講演

「当事者参加によるバリアフリーの到達点と今後の課題」

三星 昭宏（近畿大学 名誉教授、関西福祉科学大学 客員教授）



■平成26年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

近畿運輸局では、バリアフリー化の推進に多大な貢献が認められ、かつ、顕著な功績又は功労があった個人又は団体を表彰し、もってバリアフリー化に関する優れた取り組みを広く普及させるとともに、これらの諸活動を奨励することを目的として、平成20年度から表彰を実施しています。平成26年度は4事業5団体及び1個人を表彰しました。

地域・学生・行政の連携による観光支援コミュニティの創設 —京都市東山区役所・京都産業大学—



日本有数の観光地である京都東山地区において、「誰もが快適に観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進」を目的として、地域・学生・行政が連携し、観光支援コミュニティ「京都・東山観光おもてなし隊」を創設し、地域に密着したバリアフリー活動に取り組んだ。

平成26年11月1日時点の観光支援コミュニティ加盟店は41店。

「ゆりかごタクシー」による妊産婦の移動支援活動 —特定非営利活動法人 マイママ・セラビー—



妊産婦が安心して出産・子育てができる環境支援等の活動を行う中で、タクシー事業者、医療機関及び行政機関と連携した妊産婦のタクシー利用制度「ゆりかごタクシー」を発案し実現するなど、公共交通機関を利用した子育て支援活動に取り組んだ。

平成26年5月末時点での認定事業者数は6社14営業所、事前利用者の登録件数は509件。

文化財の保護、保存事業の実施とあわせた観光バリアフリーの取り組み —姫路市—



姫路城において、修理中の歴史的建造物を観光資源とし、高齢者や障害者等にも配慮したバリアフリーな修理見学施設「天空の白鷺」を開館するなど、新たな発想による観光バリアフリーに取り組んだ。

累計入場者数 1,843,406人
うち車いす利用者 5,870人

ヨットを通じたノーマライゼーション運動の先駆的な取り組み —立命館大学 体育会ヨット部—



ノーマライゼーションを目指し、学生の自発的な地域貢献活動として、障害児や障害者を対象としたヨット体験イベント「チャレンジヨット・イン琵琶湖」を20年以上にわたって開催し、スポーツ活動を通じての「心のバリアフリー」の実践に取り組んだ。

<開催実績>

平成4年～平成26年(22回開催)
参加者約 1,400人

三星昭宏氏(近畿大学名誉教授)にバリアフリー化推進への尽力に対して感謝状を贈呈



長年、日本のバリアフリー研究の第一人者として、国際会議等でご活躍される一方、近畿地域においてもバリアフリー化推進に多大な功績を上げられるとともに、国土交通省及び近畿運輸局のバリアフリー施策の委員会等の委員として主導的な役割を果たし、多年にわたり行政施策の推進に多大の貢献をされた。



【表彰式典】平成26年11月6日 大阪歴史博物館

■平成26年度バリアフリー基本構想策定推進セミナー

主 催：近畿運輸局、奈良県

日 時：平成26年1月31日（木）9:30～11:30

場 所：橿原市役所 会議室 ほか

出席者：奈良県内の市町村担当者 6市7町1村 22名

内 容：①講演

- ・当事者参加で進めるバリアフリー実践の経験を通じて（兵庫県立福祉のまちづくり研究所 北川 博巳氏）
- ・バリアフリー施策の取り組みの現状（近畿運輸局）
- ・橿原市バリアフリー基本構想の運営について（橿原市）
- ・奈良県内のバリアフリー基本構想に関する現状について（奈良県）

②橿原市バリアフリー化状況説明

- ・鉄道駅のバリアフリー化について（近畿日本鉄道株式会社）
- ・橿原市重点整備地区内のバリアフリー化について（近畿地方整備局奈良国道事務所）
- ・橿原市重点整備地区内のバリアフリー化について（奈良県）

③バリアフリーウォッチング

- ・基本構想策定後に整備された周辺道路及び八木西口駅の構内構外エレベーター等見学



■バリアフリー教室（近畿陸運協会研修会）

主 催：近畿運輸局

日 時：平成26年6月21日（土）28日（土）10:30～12:00

場 所：近畿陸運協会 大阪支部

受講者：近畿陸運協会窓口担当職員 86名

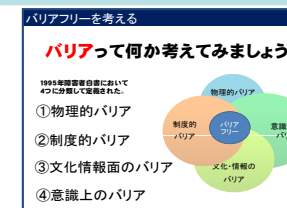
目 的：移動制約者の擬似体験や介助体験等を通じて、バリアフリーの必要性と、心のバリアフリーを拡げる。

内 容：①講義

- ・バリアフリーを考える

②体験学習

- ・車いす体験、視覚障害体験（手引誘導・ロービジョン）、聴覚障害体験（筆談）

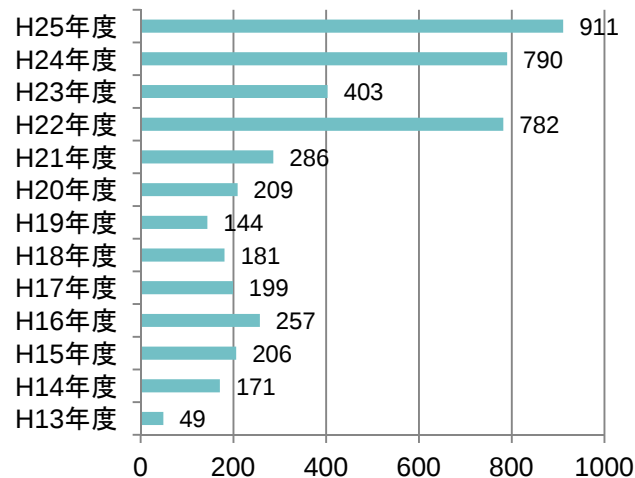


■近畿運輸局バリアフリー教室

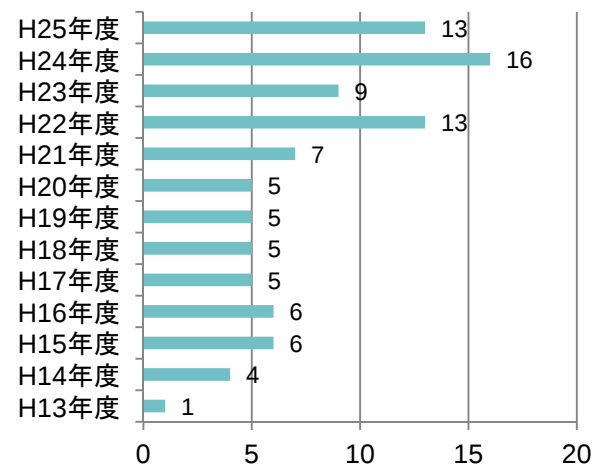
平成26年度近畿運輸局バリアフリー教室 開催実績

年度	回	実施日	主催局	自治体	開催場所	区分	対象者	参加人数
平成26年度	1	6月21日	本局	寝屋川市	近畿陸運協会	建物	団体職員	43
	2	6月28日	本局	寝屋川市	近畿陸運協会	建物	団体職員	43
	3	7月8日	本局	大阪市	近畿運輸局	庁舎	本局職員	25
	4	8月23日	和歌山	和歌山市	和歌山運輸支局	庁舎	小学生	50
	5	9月18日	大阪	高槻市	高槻市立桃園小学校	小学校	小学生	73
	6	9月21日	滋賀	米原市	ジョイ伊吹	文化施設	一般	100
	7	10月21日	本局	豊中市	豊中市立第十七中学校	中学校	中学生	230
	8	10月27日	滋賀	草津市	草津市立志津小学校	小学校	3年生	120
	9	11月4日	京都	大山崎町	大山崎小学校	小学校	3年生	100
	10	11月12日	奈良	橿原市	八木駅	駅	一般	30
	11	11月17日	奈良	大和郡山市	奈良学園	中学校	中学生	75
	12	11月19日	滋賀	守山市	守山市立南中学校	中学校	1年生	80
	13	11月20日	大阪	高槻市	高槻市立磐手小学校	小学校	小学生	98
	14	11月27日	本局	大阪市	ATC・さんふらわあ	旅客施設	旅客船事業者	66
	15	11月28日	兵庫	西宮市	大手前大学	駅	大学生	30
	16	12月1日	奈良	大和郡山市	奈良学園	中学校	中学生	75
	17	12月5日	和歌山	和歌山市	和歌山市立西脇中学校	中学校	中学生	240
	18	1月10日	京都	大山崎町	大山崎小学校	小学校	4年生・5年生	予定
	19	2月12日	滋賀	彦根市	彦根市立稲枝中学校	中学校	1年生	予定
								1478

参加人数(人)



開催回数(回)



年度別 開催実績

中国地方の取り組みについて



中国地方整備局・中国運輸局

Chugoku District Transport Bureau

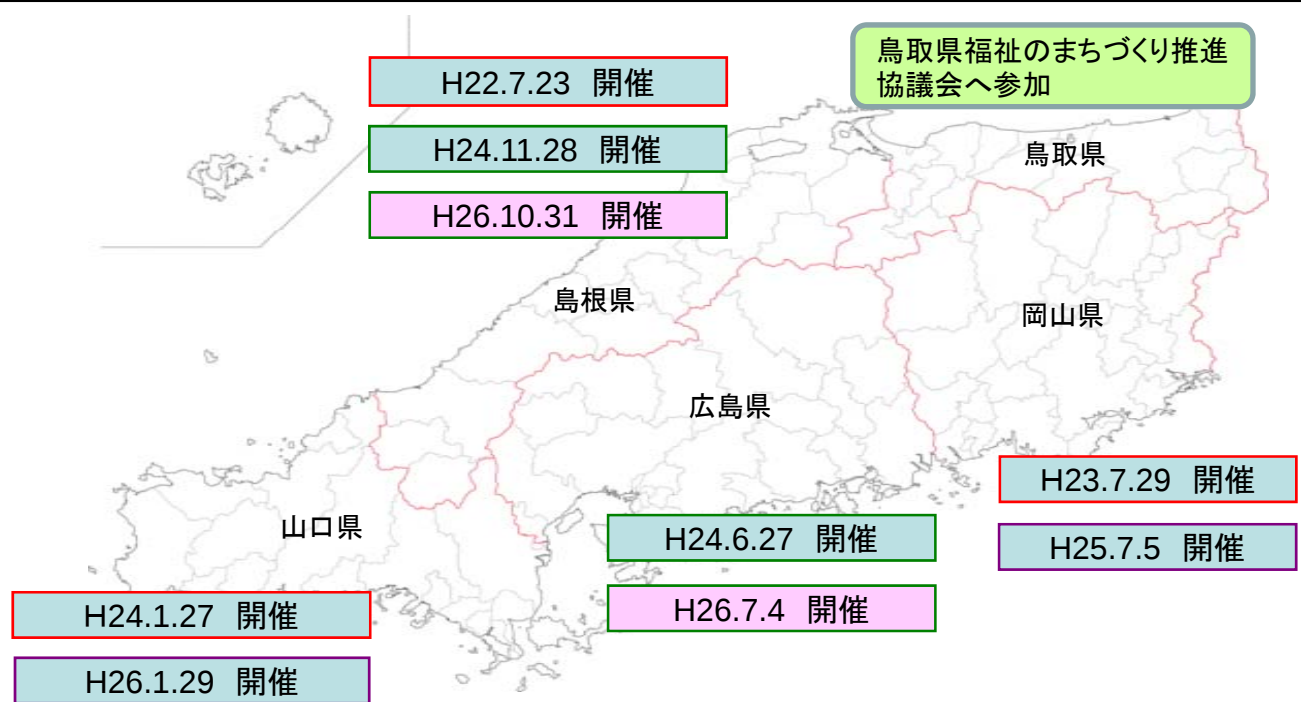
バリアフリー等地域会議の開催状況

中国地方バリアフリー等連絡会議

- ・H20年度～年1回開催
- ・H23年度に国・自治体のみを構成員に組織改編し、必要に応じ開催

各県バリアフリー等地域連絡会議

- ・平成22年度より各県単位で順次組織化
- ・事務局：中国地方整備局・中国運輸局
- ・開催状況：右図（毎年2県で開催；）



広島県バリアフリー等地域連絡会議

- ・座長：広島大学教授
- ・出席者：JR西広島支社、広島電鉄、ホテル協会 他
広島県、広島市
広島県身体障害者団体連合会、広島県視覚障害者
団体連合会、広島県ろうあ連盟、広島県手をつなぐ
育成会
- ・テーマ：バリアフリーにおける情報発信のあり方

島根県バリアフリー等地域連絡会議

- ・座長：島根大学教授
- ・出席者：JR西米子支社、一畑電鉄、出雲空港ターミナルビル
島根・鳥取県旅客船協会 他
島根県、松江市、出雲市
島根県視覚障害者福祉協会、島根県老人クラブ
連合会
- ・テーマ：お客様等からの要望とその対応について

バリアフリー教室の開催状況

一般来場者、動物園職員向けバリアフリー教室

●日時 平成26年7月12日（土）

場所 広島市安佐動物公園

内容

- ・アイマスクを装着して、折り紙の折りにくさを体験
- ・車いす当事者による介助方法等の講義及び車いす体験
- ・バリアフリーリーダーによる動物園職員に対する講義と実技指導（車いす）



旅客船事業者向けバリアフリー教室

●日時 平成26年10月30日（木）

場所 広島港宇品旅客ターミナル、第八きりくし船内

内容

- ・社会福祉士による講演
「船舶における高齢者、障がいのあるお客様等の安全確保」
- ・元 聴覚障害者協会防災対策委員による講演
「緊急時の耳の不自由な方へのサポート」
- ・高齢者疑似体験キットを装着して、船内の移動体験
- ・アイマスクを装着して、船内の移動体験
- ・聴覚障がい者を案内するための手話体験
- ・車いすの操作方法、介助方法及び車いす体験



四国ブロックの取り組みについて

四国地方整備局 企画部 企画課

四国運輸局 交通環境部 消費者行政課

① 四国におけるバリアフリーの取り組み状況

共催の取り組み

1. バリアフリー推進四国地域連絡会議の開催(年1回)
2. バリアフリー化推進功労者表彰候補者の推薦

単独での取り組み

【整備局】

- ・バリアフリー化の施設整備事業の推進
- ・ユニバーサルデザイン歩行体験コースにてバリアフリー教室の開催

【運輸局】

- ・交通バリアフリーニュースの配信
- ・基本構想作成支援プロモーターの派遣
- ・優良事業者等局長表彰(福祉・バリアフリー対策への貢献)
- ・バリアフリー教室の開催
- ・消費者行政(バリアフリー)インタビュー

② バリアフリー地方連絡協議会

【バリアフリー地方連絡協議会】前年度・平成26年3月6日開催（年1回）

○会議名称：「バリアフリー推進四国地域連絡会議」運輸局単位で実施。

○メンバー：有識者2名（大学教授・大学講師）、当事者団体7名（(財)香川県身体障害者協会他）、施設設置管理者5名（JR他）、自治体7名（県・市）、整備局・運輸局・空港事務所。

○議 題：
・学識経験者によるバリアフリー等に関する講演
・全国バリアフリーネットワーク会議報告
・四国運輸局及び四国地方整備局の取組報告
・四国運輸局長表彰（福祉・バリアフリー）
・バリアフリーリーダーの確保・育成について
・意見交換会等
（前年度例）

○課 題： 会議での意見交換では、問題解決に向けた前向きな議論や「心のバリアフリー」の醸成につながるような議論へと発展させることが必要

③ バリアフリー教室

四国地方整備局

ユニバーサルデザイン歩行体験コースにてバリアフリー教室【四国技術事務所（香川県）】

◆平成17年6月開設

◆利用目的は、福祉・介護を学ぶ学生の授業の一貫としての体験、小・中学校の総合学習、婦人団体や老人会などの学習、道路行政にたずさわる人たちの体験 など

◆体験器具（車いす、子供用車いす、介護用車いす、電動車いす、電動カート、視覚障害者体験セット、白杖、老人体験セット）

●平成26年度利用実績（H26年12月現在）

○新規採用職員 研修	27名
○(株)第一コンサルタンツ	33名
○(社)高知県建設技術公社	40名
○夏休みユニバーサル親子体験	3名
○綾川町立滝宮小学校	52名
○徳島県 県土整備部	17名
○高松市立太田小学校	150名 など

●これまでの利用者数

- ・平成17～20年度 154団体2,025名
- ・平成21年度 20団体443名
- ・平成22年度 17団体466名
- ・平成23年度 9団体161名
- ・平成24年度 5団体113名
- ・平成25年度 9団体128名



四国運輸局

平成13年度からのバリアフリー教室は、平成26年12月末現在、計75回 4,393名（一般128名、小学生3,915名、交通事業者等350名）が受講。消費者行政課及び運輸支局（企画部門）共同で実施。

【平成26年度開催状況】

(香川) 丸亀市立城南小学校4年生	101名
丸亀市立城辰小学校5年生	84名
(徳島) 徳島市立上八万小学校4年生	52名
徳島市立八万南小学校4年生	106名
藍住町立藍住西小学校4年生	87名
三好市立三縄小学校全校児童・保護者	80名
(愛媛) 西条市立橘小学校2年生～4年生	53名
(高知) 高知竜馬空港内従業員等（2月に実施予定）	

【教室の内容】

小学生を対象としたバリアフリー教室は、主に、ノンステップバスを使用した公共交通の利用促進や介護タクシーなど車両のバリアフリーの学習などを併用した教室を開催。疑似・介助体験メニューは、アイマスクを使用した視覚障害者体験、車いすを使用した体験等を実施。

出前講座等で使用する冊子“バリアフリーと心のバリアフリー”を教室時に活用。

【取り組みの成果】

- 毎年申し込みのある小学校が増加
- ケーブルテレビ放映・新聞掲載された学校あり
- 保護者の方の参加があった（学校のオープンスクール日に開催）

九州地方整備局・九州運輸局のバリアフリーの 取り組みについて

九州地方整備局企画部企画課
九州運輸局交通環境部消費者行政・情報課

Ⅰ.「九州バリアフリー等連絡会議」の開催

九州運輸局及び九州地方整備局は、平成22年度より「九州バリアフリー等連絡会議」を年1回開催しています。この会議は、高齢者、障がい者をはじめとする全ての人にとって、安全、快適に暮らしていける生活環境を実現するなど、バリアフリー化の推進について、地域に密着した情報の共有をはじめとした意見交換等を行うことで相互間の理解を深め、より良い協力関係を築き、連携してバリアフリー化の進展を目指すことを目的としています（座長：国際医療福祉大学教授 齊場 三十四（バリアフリーリーダー））。

「九州バリアフリー等連絡会議」開催状況

第1回：平成23年3月 7日開催
 第2回：平成24年2月15日開催
 ※九州運輸局交通バリアフリー等関係表彰式を併せて開催
 第3回 平成25年2月 6日開催
 ※九州運輸局交通バリアフリー等関係表彰式を併せて開催
 第4回 平成26年2月17日開催
 議 事：①全国バリアフリーネットワーク会議の報告
 ②九州運輸局におけるバリアフリー施策について
 ③各団体等におけるバリアフリーの取り組み
 ④意見交換
 ※九州運輸局交通バリアフリー等関係表彰式を併せて開催
 第5回 平成27年2月開催予定
 ※九州運輸局交通バリアフリー等関係表彰式を併せて開催予定



「九州バリアフリー等連絡会議」メンバー

- ・各県バリアフリーリーダー7名、
- ・障がい者等団体9団体
- ・交通事業者2社
- ・交通事業者団体4団体
- ・空港施設管理者1社
- ・旅館ホテル団体1団体
- ・各県バリアフリー施策担当部署
- ・政令市バリアフリー施策担当部署
- ・国関係機関（運輸局、整備局、大阪航空局）
- ・オブザーバー等

意見交換・情報の共有

- ・各地域の委員からの取組報告、意見、提言の収集
- ・バリアフリー施策の情報提供等

II. バリアフリー化の推進

心のバリアフリー施策の推進（交通バリアフリー教室の開催）

高齢者や障害者等の介助体験、疑似体験等を通じて、バリアフリーについて理解を深めると共にボランティアに関する意識を高め「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

平成26年度 交通バリアフリー教室開催状況（平成26年12月末現在）

※	平成26年8月27日	福岡合同庁舎新館	九州運輸局係員 6 名
	平成26年10月9日	九州地方整備局九州技術事務所（福岡県久留米市）	小森野小学校 4 年生 6 1 名
	平成26年10月27日	九州地方整備局九州技術事務所（福岡県久留米市）	荒木小学校 4 年生 1 1 0 名
	平成26年11月11日	東与賀小学校（佐賀市）	小学校 3 年生 9 5 名
	平成26年11月15日	鹿児島新港旅客ターミナル（鹿児島市）	旅客航路事業者船員及び運行担当 3 6 名

※は九州地方整備局と九州運輸局との共催

平成26年度交通バリアフリー教室の取組

- ・障がい者への理解をより深めるため、障がい者の方々にバリアフリー教室へ参加してもらう（疑似体験講師、講話等）。
- ・報道機関等に取材要請を行い、ニュースに取り上げてもらうことで取組内容を広く周知。
- ・九州で初めて旅客航路事業に従事する船員及び運航担当者に対する教室を障がい当事者の参加によりアドバイスをいただきながら、エコモ財団の協力のもと公益財団法人九州運輸振興センター及び鹿児島市と共催。



（車いすを使ってバスに乗車する児童）



（バスを利用して高齢者疑似体験の児童）



（エレベーターに乗り込む船員）

平成26年度 九州地方整備局(単独)バリアフリー教室の開催状況

平成27年1月1日現在

地 区	会 場 名	場 所	日 程	参加対象者	参加人数	主 催	部 署 TEL		備 考
九州	久留米市	九州技術事務所	9月18日	久留米市立荒木中学校 3年生	22	九州技術事務所	防災・技術課 施工調査・技術活用課	0942-32-8245	
	久留米市	九州技術事務所	9月30日	佐世保市大野地区民生 委員児童委員協議会	22	九州技術事務所	総務課 経理課 品質調査課 防災・技術課	0942-32-8245	
	久留米市	九州技術事務所	10月9日	久留米市立小森野小学 校4年生	61	九州地方整備局	維持管理技術課 品質調査課 防災・技術課	0942-32-8245	九州地方整備局企画 課、交通対策課、九州 運輸局、久留米市社会 福祉協議会と合同実施
	久留米市	九州技術事務所	10月15日	交通対策研修生（九州 地方整備局）	15	九州地方整備局	交通対策課	092-471-6331	
	久留米市	九州技術事務所	10月27日	久留米市立荒木小学校 4年生	110	九州地方整備局	総務課、経理課、品質調査 課、防災技術課、施工調査 技術活用課、火山防災減災 課、維持管理技術課	0942-32-8245	九州地方整備局企画 課、交通対策課、九州 運輸局、久留米市社会 福祉協議会と合同実施
	久留米市	九州技術事務所	10月28日	大分県立芸術短期大学	2	九州技術事務所	総務課 防災・技術課	0942-32-8245	
	久留米市	九州技術事務所	10月29日	佐世保市白南風地区民 生委員児童委員協議会	11	九州技術事務所	経理課 火山防災・減災課 防災・技術課	0942-32-8245	
	久留米市	九州技術事務所	11月13日	福岡市保健福祉局政策 推進課	13	九州技術事務所	品質調査課 防災・技術課 施工調査・技術活用課	0942-32-8245	
	久留米市	九州技術事務所	11月18日	基礎技術アスファルト 講習会受講生（九州地 方整備局）	9	九州技術事務所	維持管理技術課	0942-32-8245	
	熊本市	熊本市立飽田東小学校	6月4日	熊本市立飽田東小学校 4年生	68	九州地方整備局 熊本河川国道事務所	交通対策課	096-382-1214	バリアフリー体験（車イ ス、視覚障害擬似、高 齢者疑似）
	熊本市	熊本市立田迎南小学校	9月18日	熊本市立田迎南小学校 4年生	81	九州地方整備局 熊本河川国道事務所	交通対策課	096-382-1214	バリアフリー体験（車イ ス、視覚障害擬似、高 齢者疑似）
	熊本市	熊本市立山ノ内小学校	10月8日	熊本市立山ノ内小学校 4年生	98	九州地方整備局 熊本河川国道事務所	交通対策課	096-382-1214	バリアフリー体験（車イ ス、視覚障害擬似、高 齢者疑似）
	熊本市	熊本市立白坪小学校	11月19日	熊本市立白坪小学校 4年生	96	九州地方整備局 熊本河川国道事務所	交通対策課	096-382-1214	バリアフリー体験（車イ ス、視覚障害擬似、高 齢者疑似）

Ⅲ. バリアフリー勉強会・懇談会への参加、開催

九州運輸局では「交通消費者の利便性の向上」「交通バリアフリー化の推進」など、消費者行政の推進に積極的に取り組んでいます。交通バリアフリー化施策に障がい者等皆様の意見等を反映させるために障がい者団体等の勉強会や懇談会に積極的に参加、開催しています。

交通バリアフリーに関する障がい当事者との懇談会

懇談会開催状況

●障害者の権利を守る連絡協議会・九州運輸局共催
運輸局各モード担当課長及び交通事業者、交通事業者団体、行政が要望等に回答、意見交換を行っている。

- ・平成16年 4月 九州運輸局
- ・平成18年10月 九州運輸局
- ・平成20年 9月 九州運輸局
- ・平成22年10月 九州運輸局
- ・平成23年11月 鹿児島運輸支局
- ・平成24年12月 九州運輸局（障害者週間に実施）
- ・平成25年12月 鹿児島運輸支局（障害者週間に実施）
- ・平成26年 9月 九州運輸局



意見を反映

九州バリアフリー等
連絡会議

情報共有

情報共有

各運輸支局、
交通事業者等

沖縄におけるバリアフリーの取組について

内閣府沖縄総合事務局



内閣府
沖縄総合事務局

1. バリアフリー教室

■なはモビリティウィーク&カーフリーデーでのバリアフリー教室(那覇市)

- 日 時：平成26年9月20日(土) 15:00~18:00
場 所：さいおんスクエア及びモノレール牧志駅周辺(体験学習)
日 時：平成26年9月21日(日) 13:00~16:00
場 所：国際通りトランジットモール：松尾バス停(体験学習)
対 象：イベント参加者 2日間56名
主 催：内閣府沖縄総合事務局運輸部・開発建設部
協 力：(株)琉球バス交通
内 容：モノレール駅周辺や道路、ノンステップバスを利用した高齢者疑似体験、
視覚障がい者体験、車いす体験



＜高齢者疑似体験＞



＜視覚障がい者体験＞



＜車椅子体験＞

1. バリアフリー教室

■離島でのフェリーを利用したバリアフリー教室(久米島町)

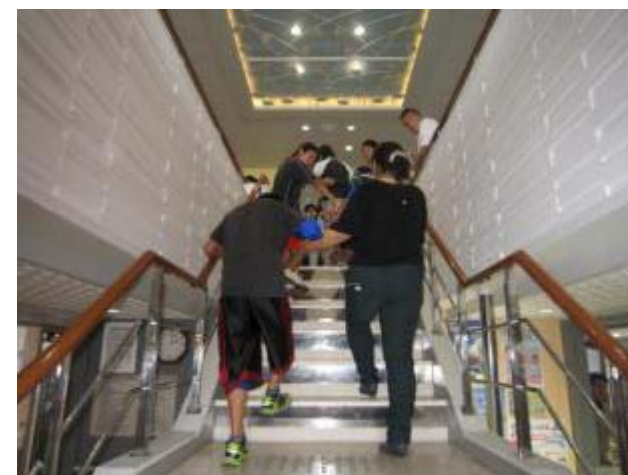
- 対 象：久米島小学校5・6年生 20名
日 時：平成26年10月27日(月) 13:00～16:00
場 所：兼城港(兼城地区)停泊 フェリー琉球船内(座学・体験学習)
主 催：内閣府沖縄総合事務局運輸部・開発建設部
共 催：社会福祉法人久米島町社会福祉協議会・久米島町教育委員会
協 力：久米商船(株)
内 容：高齢者や障がい者に対するコミュニケーション方法等についての座学及び
フェリーを活用した高齢者疑似体験、視覚障がい者体験、車いす体験



<バリアフリー教室の説明>



<視覚障がい者体験>



<高齢者疑似体験>

2. バリアフリーに関する会議等

■第6回沖縄地方バリアフリー有識者会議

日 時：平成26年5月30日（金）10:00～12:00

場 所：沖縄総合事務局内会議室

構成員：有識者（バリアフリーリーダーを含む）及び事務局

内 容：昨年度の取組報告及び平成26年度の取組方針についての意見交換

今後の予定

■バリアフリープロモーター活動

時 期：平成27年1月～3月

場 所：那覇市・糸満市・南城市

内 容：担当課長等に対して、バリアフリー基本構想策定について資料に基づき説明
開発建設部と協同訪問予定

■第6回沖縄地方バリアフリー推進連絡会議

時 期：2月予定（年1回開催）

場 所：沖縄総合事務局内会議室

構成員：有識者、地方自治体、観光・運輸関係団体、社会福祉関係団体等

※今回開催の会議から発達障がい者団体が構成員として参加予定

内 容：統一テーマに基づく議論及び意見交換、各団体からの取組報告等を予定